

新料額の普通切手の意匠等

名称	2円普通切手	52円普通切手	82円普通切手	92円普通切手	205円普通切手	280円普通切手
発行日	2014(平成26)年3月3日(月)					
意匠	エゾキウサギ	ソメイヨシノ	ウメ	スマレ	屋久島国立公園 (縄文杉)	吉野熊野国立公園 (那智の滝)
印面寸法	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm
小切寸法	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm
シート寸法	縦280.5mm×横232.0mm	縦280.5mm×横232.0mm	縦280.5mm×横232.0mm	縦280.5mm×横232.0mm	縦280.5mm×横232.0mm	縦280.5mm×横232.0mm
版式刷色	グラビア3色	グラビア4色	グラビア4色	グラビア3色	グラビア6色	グラビア6色
シート構成	100枚 (縦10枚×横10枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)
売価	2円	52円	82円	92円	205円	280円
意匠						
	<p>「エゾキウサギ」はユーラシア北部に広く分布するウサギ科ウサギ属ユキウサギの亜種で、日本では北海道に生息しています。</p> <p>北海道内では島を除く全域に分布し、森の中で草や木の葉、小枝を食べて生活しています。</p> <p>体重は2から4kgです。</p> <p>夜間活発で日中はあまり動かないため、姿を目にすることは稀ですが、冬は雪の上について特徴的な足跡をよく見かけます。</p> <p>毛色は、夏は茶褐色、冬は白色です。</p> <p>冬はまさに雪のような白さです。</p>	<p>「ソメイヨシノ」は、バラ科の落葉高木で、春、新葉が出る前に樹冠を覆って花が咲きます。</p> <p>野生のサクラであるオオシマザクラとエドヒガンの雑種で、江戸時代の終わり頃、植木で有名だった江戸(東京)の染井村から広まったといわれています。染井の吉野桜という意味で明治33年にこの名が付けられました。</p> <p>樹皮は暗灰色。花は淡いピンク色で、ひとつの花芽に3～4個集まって咲きます。葉の両面に毛があり、縁にはぎざぎざがあります。葉の裏側は淡い緑色です。</p>	<p>「ウメ」は中国原産のバラ科の落葉高木で、奈良時代には日本に渡来していました。</p> <p>早春、甘い香りを放ちながら、冬枯れの枝に小さな花を咲かせます。樹形には風格があり、剪定を重ねれば古木のような味わいが引き出せます。</p> <p>多くの品種があり、花色、花形など変化に富んでいます。開花時期も品種によって2か月程度の差があります。</p> <p>また、果実は梅干しなどに加工して利用され、食用の品種も多数あります。</p>	<p>「スマレ」はスマレ科の多年草で、南千島から台湾(高地)を含む東アジア温帯に広く分布します。</p> <p>日当りのよい草地などに生え、日本各地で見られます。花は4～5月、細長い葉とともに地下茎から出る高さ5～20センチメートルの花柄の上部につき、濃紫色で花径は約2.5センチメートル。花弁は5枚で、側弁の内側に普通は白いひげ毛があり、下弁の基部には長さ5～7ミリメートルの距(付け根にある突起部分)があります。</p> <p>南千島以南から台湾(高地)を含む東アジア温帯に広く分布し、日当りのよい草地などに生えますが、落葉樹林や松林の下でもみられます。</p>	<p>「屋久島国立公園」は、九州本島最南端の佐多岬から南に60kmの海上に位置する屋久島と、その北西の口永良部島からなります。</p> <p>顕著な標高差のある屋久島には、亜熱帯性植物を含む海岸植生から、冷温帯性のササ草地や高層湿原に及ぶ植生の垂直分布が保持され、特異な生態系が形成されています。また、「屋久杉」と呼ばれる樹齢1000年を超える杉等の巨樹からなる森林もみられ、原生的な自然景観を有しています。</p> <p>平成5年12月には、その生態系と自然景観の価値が認められ、日本で最初の世界自然遺産に登録されました。縄文杉は、樹高25.3m、胸高直径16.4mで、現在確認されている最大の「屋久杉」です。昭和42年に広く世に紹介されて以降、屋久島のシンボルとして多くの人を魅了しています。</p>	<p>「吉野熊野国立公園」は、大ヶヶ原や大峯山脈を源に、瀧峡などの渓谷美を形成しながら流れ下る北山川や熊野川、橋杭岩や鬼ヶ城などの特徴的な地形を有する熊野灘の海岸など、多様で奥深い自然景観と、それら自然の中で育まれた修験道や「蟻の熊野詣」と称されるほど信仰を集めた熊野信仰などが密接に関わる文化的景観を有しています。</p> <p>那智の滝は、日本一の落差133mを誇る日本三大名瀑のひとつであるとともに、熊野那智大社の別宮、飛瀧神社のご神体として古来より人々の崇敬を集めてきました。また、今なお修行の場とされている那智四十八滝の「一の滝」と呼ばれ、吉野熊野国立公園らしさが凝縮された場所です。</p> <p>周辺には、熊野那智大社の他、西国三十三ヶ所第一番札所の青岸渡寺や、大門坂に代表される熊野古道など、自然と一体となった史跡や文化財が多く残り、2004年には、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」としても登録されています。</p>
デザイン	独立行政法人 森林総合研究所北海道支所 監修	小石川植物園植物分類学研究室 監修	小石川植物園植物分類学研究室 監修	小石川植物園植物分類学研究室 監修	環境省 監修	環境省 監修

貝淵 純子(切手デザイナー)

新料額の普通切手の意匠等

名称	310円普通切手	慶事用52円普通切手	慶事用82円普通切手	慶事用92円普通切手	弔事用52円普通切手
発行日	2014(平成26)年3月3日(月)				
意匠	利尻礼文サロベツ国立公園 (利尻島)	扇面に梅文様	扇面に竹文様	扇面に松文様	花文様
印面寸法	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm	縦22.5mm×横18.5mm
小切寸法	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm	縦25.5mm×横21.5mm
シート寸法	縦280.5mm×横232.0mm	縦280.5mm×横232.0mm	縦76.5mm×横129.0mm	縦280.5mm×横232.0mm	縦280.5mm×横232.0mm
版式刷色	グラビア6色	グラビア3色	グラビア3色	グラビア3色	グラビア3色
シート構成	100枚 (縦10枚×横10枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)	10枚 (縦2枚×横5枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)	100枚 (縦10枚×横10枚)
売価	310円	52円	82円	92円	52円
意匠					
	<p>「利尻礼文サロベツ国立公園」は、利尻・礼文の両島、海岸沿いに広大な湿原景観を有するサロベツ原野や稚咲内砂丘林を含む公園で、山岳、海食崖、湿原、海岸砂丘など変化に富む景観を誇っています。</p> <p>利尻山は、「利尻富士」とも呼ばれ、利尻島内から見る姿はもちろん、礼文島やサロベツ原野から望む海面から円錐状にそびえ立つ姿が美しく、当公園のシンボリックな存在です。</p> <p>礼文島は花の浮島とも呼ばれ、レプンアツモリソウ、レプンシオガマ、レプンウスユキソウ、レプンソウなど、寒冷な気候条件が育んだ貴重な高山植物のお花畑を見ることができます。</p> <p>切手の風景は、礼文島桃岩歩道に咲くレプンシオガマと、そこからみた利尻山を描いています。</p> <p>礼文島には300種近い高山植物が生育していると言われ、季節が変わるごとに代わる代わる花をつけ一面を彩ります。</p> <p>レプンシオガマは6月中旬～7月下旬に薄ピンク色の花をつけ、少し遅れて咲くエゾイブキトラノオなどと咲き競います。</p>	<p>末が広がることから、吉兆の意味になぞられ縁起のよい文様とされている扇面と、「百花のさきがけ」というように厳寒の中で香り高く咲きそめ、古来より東洋で尊ばれている梅をデザインに使用しています。</p>	<p>末が広がることから、吉兆の意味になぞられ縁起のよい文様とされている扇面と、高潔で、いかなるときも節度を保ち、しなやかで強く、折れることのない竹をデザインに使用しています。</p>	<p>末が広がることから、吉兆の意味になぞられ縁起のよい文様とされている扇面と、千年の樹齢を保つといわれることから長生きの象徴として、吉祥の木とされている松をデザインに使用しています。</p>	<p>悲しみを表す白い花をモチーフに、落着いた色合いでまとめた上、仏花に限定されないよう、あえてデザイン的な表現としています。</p>
	環境省 監修	-	-	-	-
デザイン	貝淵 純子(切手デザイナー)				